



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎昌

2007.12.11

2007-2008 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 15号

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007-2008 クラブテーマ **ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!**

- 本日の例会 クラブ協議会、理事指名
- 次回例会予定 18日(火)クリスマス家族例会

12月4日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告



■来訪者 稲川庫太郎君、井田 三義君、鈴木 洋二君 (高崎北RC)

■ロータリー財団寄付 遠藤 潤君、加藤 勝二君、飯嶋 藤平君、竹内 慎昌君

■米山小額対寄付 遠藤 潤君、加藤 勝二君、井田 泉君、竹内 慎昌君

●ロータリーの友より

雑誌委員会 担当 吉村修二君
今月12月の友よりの記事抜粋です。横開き5ページ
「私が感じるロータリーの魅力」より4名のロータリアンの座談会



*花泉クラブは20人で、4人が女性です。例会では、はじめの歌が終わったすべての会員と握手をします。ピジターの方々も同様です。(今年度新潟地区では渡辺ガバナーのもと地区全クラブで開会直後の握手を実施しています)少人数であるのでそれぞれの会員がとても責任感をもってしています。

*徳島南クラブではその年度ははじめ6月から12月までパストガバナーをお招きし毎月1回5時間の講義勉強会を新会員のために行っています、勿論先輩会員の参加も歓迎です。

*ロータリーに入会したときに自分が参加できるものにはすべて参加しました、そのなかから「ロータリーって本当にすばらしい」と思った。ロータリーの魅力というのは、個人の努力次第だと思います。

*先輩からロータリーの場合は、何でも「はい」といいなさい、そんな指導を受け20年間やってきました。その間、幹事・会長・地区役員を6年やりましたが、ロータリーは自分が努力しないと絶対に楽しくないところです。自分のやりかた次第。いろいろなことを吸収して人に教える。そういったことで、今までロータリーをつづけてきました。
*新会員は親睦活動委員になって例会の時は会員を出

迎えるところからスタートします。新会員を入れたはいいいけど、放っておくとだんだん出てこなくなりますから声をかけてあげたり役割をつくってあげないと、どこにいたらいいのかわからなくなってしまいます。

*私のクラブでは「10for2」といって10人の会員で2名の新会員の面倒を見ている、そして年2回話し合いをもってクラブの伝統やらロータリーについての事を教えています。実際新会員の時は、何をどうしていいのか見当もつかないので、そうしたサポートは非常に助かりました。
*いろいろな人を見てみると、考え方の違いや対立というのは絶対にあります。ロータリーに関しては、むきにならないようにしています。自分の生活があって、自分の会社があって、そこで余った時間、余った何かを使う。ロータリーは趣味にすればいいんです。

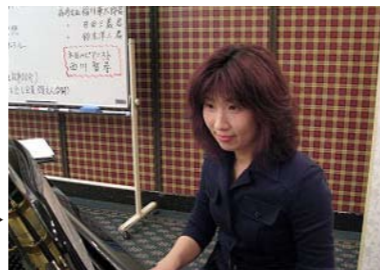
*ロータリーは井の中の蛙になってはいけない。他のクラブ例会や地区の会合にしっかり出席して自分を研鑽しない限りは、ロータリーは楽しくなりません。ロータリーは今日入った人も何十年在籍している人も皆平等だと言ってくれます。すごくいいと思います。

今、セントラルクラブに何が足りないのか、どうしたら楽しいクラブに出席したくなるクラブになるのか真剣に考える時ではないでしょうか。それについて会員諸氏にはご意見ご希望などありましたら是非会長・幹事・役員にお申し出ください。楽しい活発なクラブにしていこうではありませんか。その他の記事は各々お読みください。



◀会員増強委員会の説明をする橋爪君(カメラ目線)

今月のピアニスト▶
西川智尋さん



ドラプラデシ州にある地域社会クリニックで経口ポリオワクチンを乳児に投与するビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同創業者、ビル・ゲイツ氏▼

◎国際ロータリーとゲイツ財団が共同でポリオ撲滅に2億ドルを投入

2007/11/27
ポリオ撲滅に220億円寄付＝ゲイツ財団と国際ロータリー



【シカゴ26日時事】米マイクロソフトのビル・ゲイツ会長夫妻が運営する慈善団体であるゲイツ財団と、地域社会に根差した奉仕団体であるロータリークラブの連合体、国際ロータリーは26日、ポリオの撲滅運動に共同で2億ドル(約220億円)を寄付すると発表した。最初の1億ドルはポリオワクチンの投与費用に充てられるという。発表によると、国際ロータリーがゲイツ財団から1億ドルの寄付を受け入れるとともに、今後3年間で会員などから同額を集め、世界保健機関(WHO)などと協力して取り組んでいる「世界ポリオ撲滅推進計画」に投入する。

国際ロータリーは1985年から最重要課題としてポリオ撲滅活動を続けているが、外部からの寄付金では今回が過去最高額になるという。



ポリオワクチンの投与をするロータリアン▲

■12月・1月の例会予定
12月22日(土)25日振替、高崎南RC合同街頭募金

1月1日(火)休会(祝日・元旦)
8日(火)会長の日(ロータリーの友記事紹介) 1月の誕生会(会員・会員夫人合同)
9日(火)6RC合同新年会(高崎ビューホテル)

ニコニコBOX

高崎北RC稲川庫太郎君 初めて訪問いたします。よろしくお願いたします。4/16高崎北RCも40周年になります。
高崎北RC井田 三義君 夜の例会のメイキャップ初めて体験します。よろしく!
高崎北RC鈴木 洋二君 ロータリーの友11月号「友愛の広場」に記事が載りました。高崎北RC40周年お世話になります。
三井田 賢一君 北クラブの皆様メイク有難うございます。嶋方 徳郎 君 寒い!
橋爪 良真 君 12月に成りました。寒くなりました。

■論語より■

論語 子曰く、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。
孔子が言われた。人間の一番大切なことは恕(思いやり)である。自分が望まないことは、人にたいしてやってはならない。
これは高弟の一人の子貢の問いに対する孔子の答えであって、巻六第十二顔淵篇2の文中にも「己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ」とある。
これはいかに孔子が「人への思いやり」を重視していたかがわかる。思いやりは、孔子の哲学の根元「仁」の中心にあるものである。
※「声に出して活かした論語70」 三戸岡道夫 より抜粋



出席報告 (12月4日)

会員総数	35
出席計算会員数	33
当日出席者	24
会場出席率(%)	72.73

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
例会 / 毎週火曜日 18時30分
E-mail:takasaki-cent@rid2840.jp